

# 令和2年度授業改善推進プラン

- (取り組み内容)
- ・毎学期の終わり、自分の担当(各学年ごとに項目だてて)の授業に関して作成する。
  - ・本年度の自己の研修課題に関連し、自己の授業を分析し課題を見いだす。
  - ・見いだされた課題に対し改善プランを立て、指導方法の工夫・改善を図る。
  - ・学期の終わりに検証を行い、来学期につなげていく。

教科名(保健体育) 教科担任名 氏部 和昭

★教科・観点について  
 期末テスト及び学期の学習状況、生徒の授業アンケートをもとに分析し記入する。<○成果 ▲課題>

観点	1学期			2学期			3学期
	学年	課題分析	具体的な改善策	学年	課題分析(授業改善・プランの1次評価)	1次評価後の具体的な改善策	改善プランの評価・来年度にむけて
運動や健康・安全への 関心・意欲・態度	1年	○まじめに取り組んでいる ▲運動意欲に差がある	・全体的に意欲的に授業に取り組むことができた。やる内容が理解できないと、動けなくなり聞くことができない生徒もいるため、分かりやすく説明をするように心がけたい。	1年	○意欲的に取り組んでいる ▲不得意な生徒は消極的になりがち	・言葉での指示だけではイメージができない生徒が多く、つい説明が長くなりがちなので、できるだけ簡単な表現で、少ない指示になるようにつとめた。 ・体力よりも技術が必要な種目(マット運動や柔道)はスモールステップでの目標をこまめに設定することにより一つ一つ課題解決していることの実感を持たせることで、意欲的に取り組むことができるようになっていった。	
	2年	○意欲的な生徒が多く、まじめに取り組んでいる ▲運動意欲に差がある		2年	○意欲的に取り組んでいる ▲長距離走など避けたい種目の時は体育着を持ってこない生徒が出てきた		
	3年	○意欲的な生徒が多く、まじめに取り組んでいる ▲運動意欲に差がある		3年	○意欲的な生徒が多い		
運動や健康・安全につ いての思考・判断	1年	▲与えられた課題は真面目にやろうとするが、指示されたこと以上に自ら考えて工夫するような取り組み方はできない	・教科書や学習カードを活用したり、生徒同士の教え合いを活用するなどして、生徒自らが考えて授業に取り組めるように工夫していく。	1年	○互いに声かけをしながらアドバイスし合う姿が見られるようになった	・学習カードが使える場面では、項目に他者評価を加えることで、他者への関心を持たせ、それがアドバイスすることにつながるよう配慮した。また、自他の比較から理解が深まり、更に工夫へとつながる場面もでてきた。 ・柔道では毎時間の受身の際に、なぜ必要か、何ができるようにすることを求めているかを繰り返し説明することにより、おさなりの実践にならず定着に結びついた。	
	2年	○行っていることの意味を理解して、指示の前に動ける生徒も出てきた ▲与えられた課題は真面目にやろうとするが、全体的には指示されたこと以上に工夫するような生徒が多い		2年	○互いに声かけをしながらアドバイスし合う姿が見られるようになった		
	3年	▲過去の経験の範囲から抜け出すことができず、新たな取り組みに挑もうとする工夫ができない		3年	○互いに声かけをしながらアドバイスし合う姿が見られるようになった		
運動の技能	1年	△真面目に取り組んでいる割には結果(記録)が良くない ▲課題の捉え方ができていないために、自分の能力を引き出せていない生徒が多い	・量・質の両面から個々の運動能力や技術の向上を図っていくとともに、限界を決めず自分の能力に挑戦していく雰囲気を作っていく	1年	○できるようになると意欲的に取組む	・マット運動では、他者のできばえに刺激を受けて、より完成度を高めたり、より難易度の高い技に挑戦する姿勢が見られた。 ・1年生の柔道は主に受身の習得を中心に行っていたが、概ね満足するレベルになった。2・3年生の柔道では投げ技に取組んだが、基本の動きについては理解し、できるようになった。 ・サッカーでは毎時間、前半を個人練習、後半をゲームにして、ゲームでは前半で練習した技術を実践させるように意識させた。	
	2年	○記録を伸ばそうと工夫する生徒も出てきた △真面目に取り組んでいる割には結果(記録)が良くない ▲限界を決めてしまい、自分の能力向上に挑む姿		2年	○できるようになると意欲的に取組む		
	3年	△真面目に取り組んでいる割には結果(記録)が良くない ▲限界を決めてしまい、自分の能力向上に挑む姿勢が弱い		3年	○できるようになると意欲的に取組む		
運動や健康・安全につ いての知識・理解	1年	○健康や安全について意欲的に学習する姿が見られた	・運動に対して意欲はあるので、知識を生かすことでより能力を高めることができることを理解できる授業が行えるようになる。	1年	○健康や安全について意欲的に学習する姿が見られた ▲実技の実践では知識を利用して行っている様子が伺えるが、文字や文章で表現させると答えられない	・授業中の会話や、アドバイスに対する受け答えから判断すると経験的な知識は身につけていると思われるが、学習カードや定期考査の結果を見ると、それを表現することができていないと感じる。	
	2年	○健康や安全について意欲的に学習する姿が見られた		2年	○健康や安全について意欲的に学習する姿が見られた ▲実技の実践では知識を利用して行っている様子が伺えるが、文字や文章で表現させると答えられない		
	3年	○健康や安全について意欲的に学習する姿が見られた ▲知識を利用してさらに高い結果を導こうとする姿勢は見られない		3年	▲実技の実践では知識を利用して行っている様子が伺えるが、文字や文章で表現させると答えられない		
授業改善の検証方法	授業観察、技能テスト、定期考査、生徒アンケート			授業観察、学習カード、技能テスト、定期考査、生徒アンケート			
研修課題(キャリア教育に関連した教科としての取組)	研修課題に対する教科としての具体的な実践方法	1学期の成果と課題	1学期の結果を踏まえた具体的な実践方法及び追加内容	2学期までの成果と課題	1年間の成果と今後の課題		
運動や健康に関する活動を通し、『主体的に学び、物事にねばり強く取り組む生徒の育成』を行っていく。	・教え合いの場を意識的に設定して、コミュニケーションを通して互いに高め合う活動をさせる。 ・先を見通して計画的に学習を進める力を付けさせる。	【成果】 体育の授業を楽しみにする雰囲気で作成を展開できた。 【課題】 生徒が自分で考えて技術を向上できる力をつけていく。また、個々の運動能力に応じてアドバイスを心がける。	・種目によっては学習カードに他者評価加えることで、教え合いの場を意識的に設定して、コミュニケーションを通して互いに高め合う活動をさせる。 ・単元の最初に最終目標をイメージさせるとともに、各時間ごとに目標を意識させることにより、先を見通して計画的に学習を進める力を付けさせる。	【成果】始業前に出てきて、自主的にウォーミングアップを始めることが定着していることから、体育の授業を楽しみにしている様子が見えた。また目標を理解し、そこに向けて努力していた。 【課題】球技(サッカー)では習得した技術をゲームで実践できるように授業展開したが、必ずしも強制的に使わせるような工夫が必要だと感じた。			